

RICOH THETA Stitcher Manual for macOS

● 製品概要

本ソフトウェアは RICOH THETA が出力した RAW 画像に対して、Adobe Photoshop Lightroom Classic が現像処理した画像をスティッチングするためのソフトウェアです。

● 動作環境

本ソフトウェアは以下の環境で動作します。

- ✓ Adobe Photoshop Lightroom Classic: バージョン 9.0*以降
- ✓ macOS : 10.13 High Sierra, 10.14 Mojave, 10.15 Catalina
- ✓ OpenGL 4.1 以上対応の GPU を搭載していること
- ✓ DRAM は 16GB 以上を推奨
- ✓ Video RAM は 4GB 以上を推奨
- ✓ その他の必要システム構成は Adobe Photoshop Lightroom Classic のそれに準ずる

● インストール方法

同梱する RICOH THETA Stitcher Setup.pkg を起動し、インストーラーのダイアログに従ってインストールしてください。

● RICOH THETA Stitcher を Adobe Photoshop Lightroom Classic から使う

以下の手順で設定をしてください。

1. Adobe Photoshop Lightroom Classic を起動する。
2. メニューバーで [Lightroom] - [環境設定] を開く。
3. 環境設定ダイアログボックスの [外部編集] タブで [追加外部エディター] 領域にある[選択]をクリックする。
4. "/Application/ RICOH THETA Stitcher/ RICOH THETA Stitcher.app" を選択する。
5. [追加外部エディター] 領域にある [プリセット] メニューから [現在の設定を新規プリセットとして保存] を選択する。
6. プリセットの名前に "RICOH THETA Stitcher" と入力し、[作成] をクリックする。
7. 左上の[×]をクリックする

- アンインストール方法

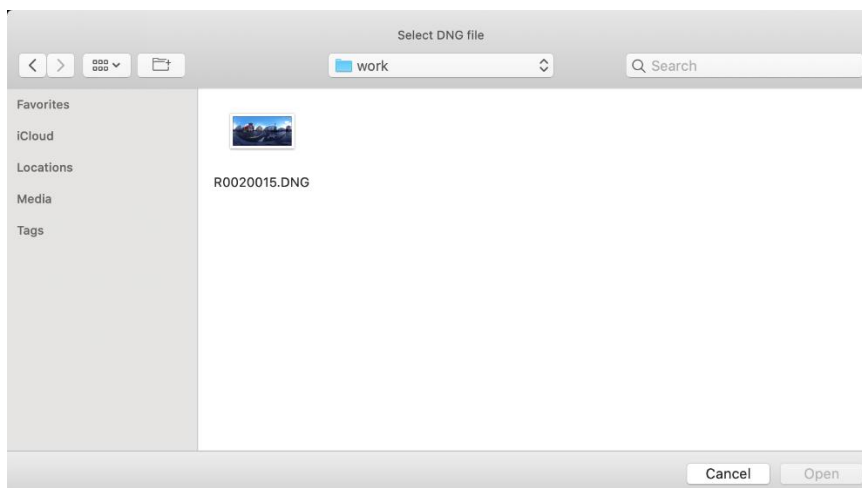
“/Application/ RICOH THETA Stitcher/” を “ゴミ箱” にドラッグする

- RICOH THETA Stitcher でステッチングする

本ソフトウェアのご使用方法は以下手順の通りです。

1. RAW 画像を Adobe Photoshop Lightroom Classic で読み込む
2. 現像等の処理完了後、メニューバーの[ファイル] - [書き出し]をクリックする
3. [書き出し場所]領域の[書き出し先]に[元の写真と同じフォルダー]を選択し、[サブフォルダーに保存]のチェックを外す
(推奨) [書き出し場所]領域の[このカタログに追加]及び[スタックに追加]にチェックする
(注) 書き出した画像ファイルと元の DNG ファイルは同一フォルダー内に保存する必要があります。同一フォルダー内に元の DNG ファイルが存在しない場合は DNG ファイル選択画面 (※) が表示され、元の DNG ファイルを手動で指定することも可能です。
4. [ファイルの名前]領域の[変更後の名前]にチェックを入れ、任意の設定を選択する
5. [ファイル設定]領域で、[画像形式]に JPEG、もしくは TIFF を選択する
6. [画像のサイズ調整]領域で、[サイズ変更して合わせる]のチェックを外す
7. [後処理]領域で、[書き出し後]に“RICOH THETA Stitcher で開く”を選択する
8. 右下の[書き出し]をクリックする

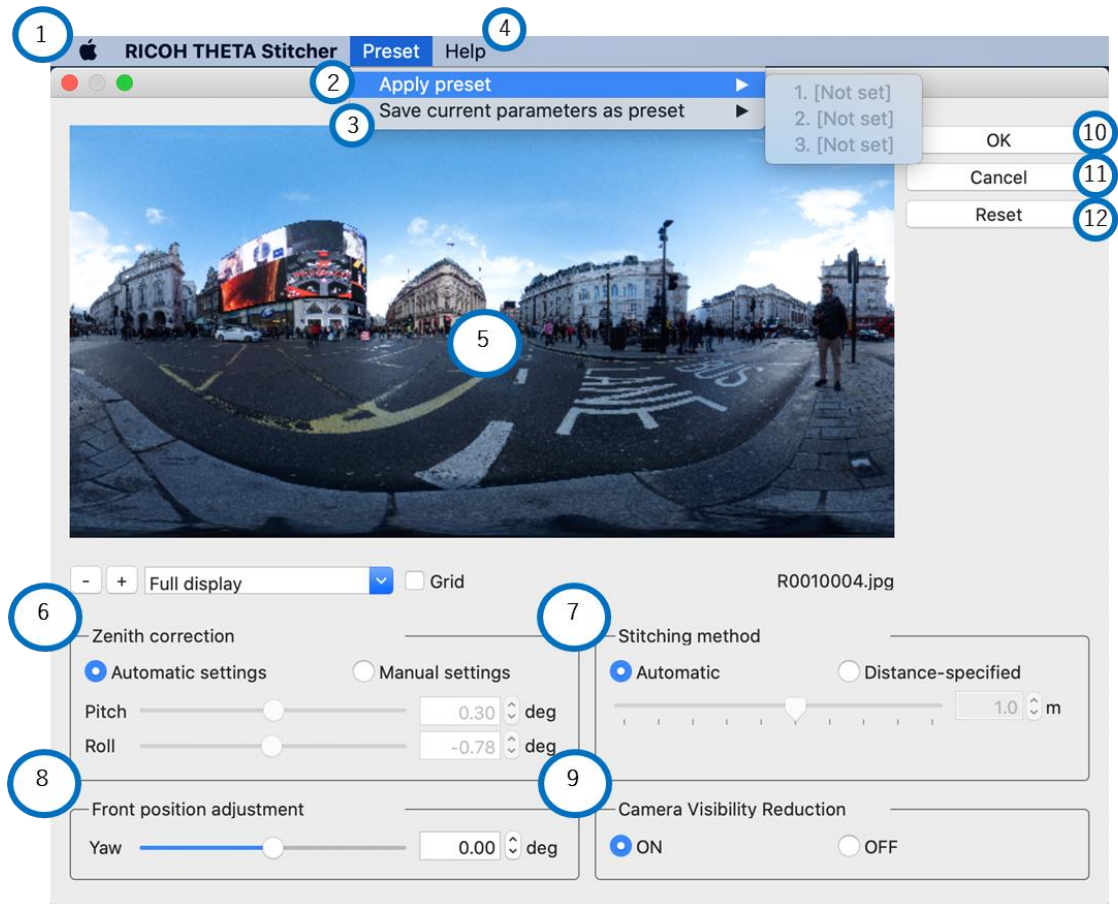
(※) DNG ファイル選択画面



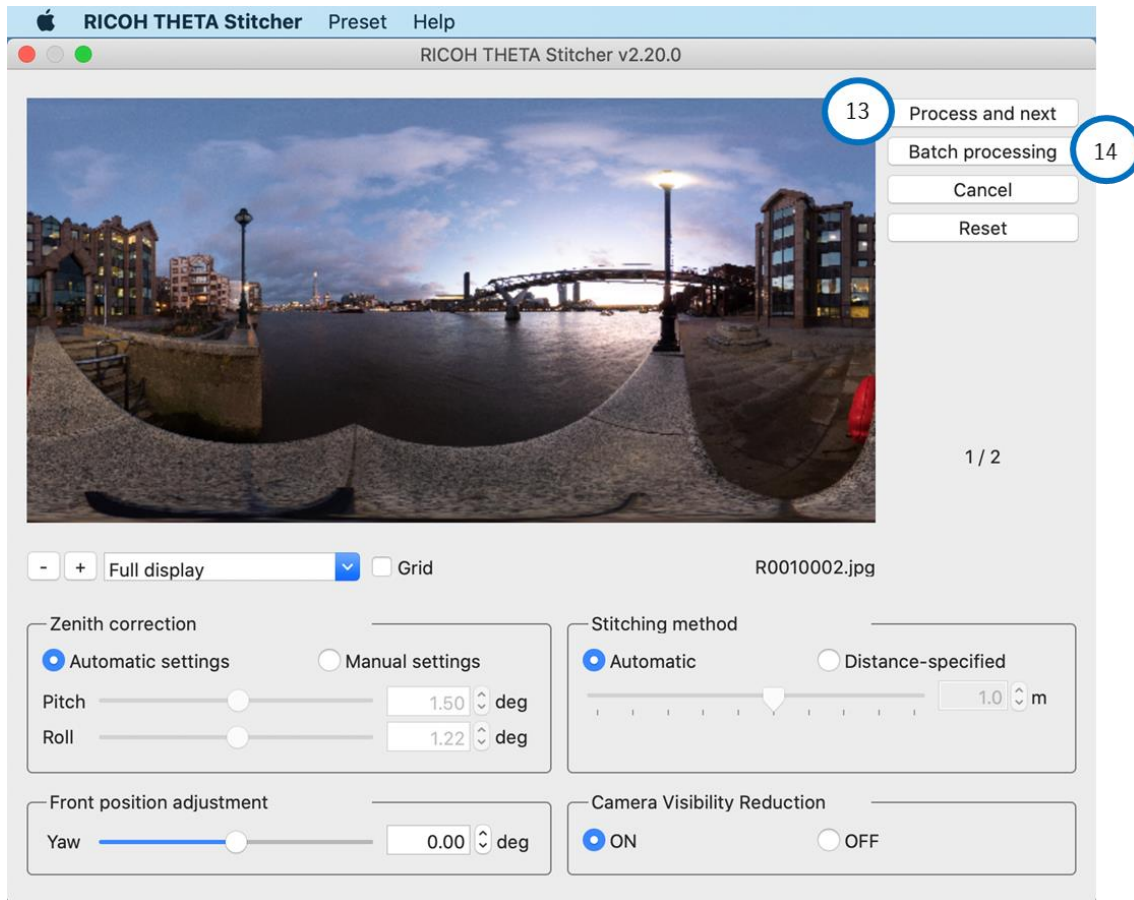
- プラグイン画面

本ソフトウェアの画面の説明をします。書き出し画像の枚数によって表示される画面が異なります。

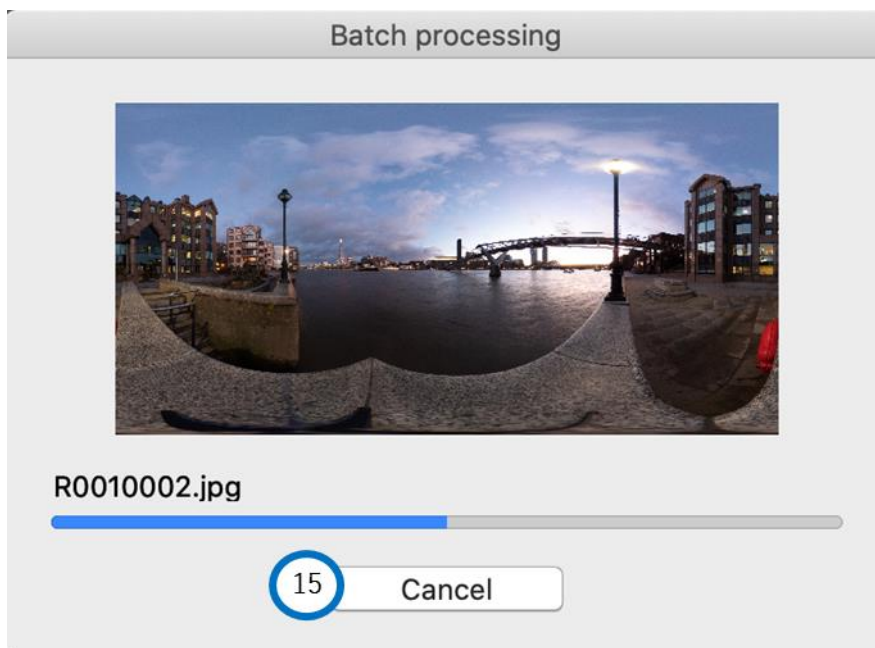
<1 枚画像処理の場合>



<複数枚画像処理の場合>



一括処理中は、次の処理進捗確認用の画面が表示されます。



	項目名	説明	規定値	設定可能な値
①	ウィンドウ	画面端をドラッグしてウィンドウサイズを変更できます。	-	-
②	プリセットを適用	保存されているプリセットを適用します。	-	-
③	現在のパラメーターをプリセットとして保存	現在のスティッチパラメーター*をプリセットとして最大 3 つまで保存することができます。 (*天頂補正、正面位置調整、スティッチング方式、カメラ写り込み軽減)		
④	ヘルプ	マニュアルを表示します。	-	-
⑤	プレビューエリア	スティッチング結果をプレビュー表示します。	-	-
⑥	天頂補正	空が上方向・地面が下方向になるように回転補正します。	自動	自動または、 Pitch:-90.00～90.00 [deg] Roll:-90.00～90.00 [deg]
⑦	スティッチング方式	2つの画像をスティッチングする際の方式です。基本的には自動を推奨しますが、スティッチングする距離を任意に固定することも可能です。	自動	自動または、 0.30/0.40/0.50/0.60/0.75/1.00/1.50/3.00/5.00/∞ [m]
⑧	正面位置調整	水平方向に画像を並行移動します。構図を調整したい時に使用します。	0.00 [deg]	-180.00 ～ 180.00 [deg]
⑨	カメラ写り込み軽減	[ON]カメラの写り込みを軽減します。 [OFF]カメラ底面方向のスティッチの精度が向上します。	画像により異なる	ON、OFF
⑩	OK	スティッチング結果を出力します。	-	-
⑪	キャンセル	RICOH THETA Stitcher を終了します。 ※Adobe Photoshop Lightroom Classic	-	-

		にステッチ前の状態が保存されます。		
⑫	リセット	ステッチパラメーターを規定値に戻します。	-	-
⑬	処理して次へ	ステッチング結果を出力した後、次の画像を続けて処理することが可能です。	-	-
⑭	一括処理	2枚以上の画像を同じ設定値で連続して一括処理します。	-	-
⑮	キャンセル	現在の画像を処理した後に RICOH THETA Sticher を終了します。 ※それ以降の画像はステッチ前の状態で保存されます。	-	-

● こんな時は

表示内容	説明・対処
対応する DNG ファイルではありません	本ソフトウェアで編集可能なのは RICOH THETA から出力した RAW 画像です。
Adobe Photoshop Lightroom Classic から起動してください。詳しくは[ヘルプ]の "RICOH THETA Sticher でステッチングする" を確認して下さい。	記載の通り、上記の "RICOH THETA Sticher でステッチングする" の項目を確認して下さい。
JPEG, TIFF 以外のファイルは未対応です	本ソフトウェアで扱える形式は JPEG 又は TIFF です。本ソフトウェア起動する際に Adobe Photoshop Lightroom Classic で設定するファイル形式は JPEG 又は TIFF を選んでください。
Unicode を含むファイルパスは処理できません	フォルダー名及びファイル名には Unicode を使用しないで下さい。
DNG ファイルが見つかりませんでした。詳しくは[ヘルプ]の "RICOH THETA Sticher でステッチングする"	上記の "RICOH THETA Sticher でステッチングする" の項目を参照して[書き出し場所]又は[ファイルの名前]の設定を正しくおこ

る"を確認して下さい。	なうか、もしくは“DNG ファイル選択画面”で元の DNG ファイルを指定してください。
正しく処理できませんでした : 0x00000001	本ソフトウェアで編集可能なのは RICOH THETA から出力した RAW 画像です。
正しく処理できませんでした : 0x00000005, 0x00010500, 0x00010501, 0x00010502, 0x00010503, 0x00010504, 0x00010506	グラフィックボードのドライバーのアップデートをしてください。
正しく処理できませんでした : 0x00010505	メモリの容量不足です